

商品名 ピタバスタチンCa錠2mg「JG」 医薬品基本情報

薬効	2189 その他の高脂血症用剤	一般名	ピタバスタチンカルシウム2mg錠
英名	Pitavastatin calcium JG	剤型	錠
薬価	12.90	規格	2mg 1錠
メーカー	日本ジェネリック	毒劇区分	

ピタバスタチンCa錠2mg「JG」の効能・効果

高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症

ピタバスタチンCa錠2mg「JG」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、胆道閉塞、重篤な肝障害、シクロスポリン投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 腎機能に関する臨床検査値に異常	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	相対禁止
3. 肝障害のある成人、肝障害のある小児	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. 家族性高コレステロール血症のうちホモ接合体	記載場所	効能・効果
	注意レベル	注意
5. 横紋筋融解症を起こし易い体質、甲状腺機能低下症、筋ジストロフィーの家族歴、遺伝性筋疾患の家族歴、筋ジストロフィー、遺伝性筋疾患、薬剤性筋障害の既往、アルコール中毒、重症筋無力症又はその既往、腎障害又はその既往、肝障害又はその既往、腎障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ピタバスタチンCa錠2mg「JG」の副作用等

1. CK上昇、ミオグロビン尿、筋肉痛、脱力感、横紋筋融解症	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明

2. 血小板減少	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症、急性腎障害、重篤な腎障害、ミオパチー、広範な筋肉痛、筋肉圧痛、著明なCK上昇、近位筋脱力、CK高値、炎症を伴わない筋線維壊死、抗HMG-C oA還元酵素抗体陽性、抗HMGCR抗体陽性、免疫介在性壊死性ミオパチー、間質性肺炎、発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、重症筋無力症、眼筋型重症筋無力症、全身型重症筋無力症、重症筋無力症悪化、眼筋型重症筋無力症悪化、全身型重症筋無力症悪化	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
4. 著しいAST上昇、著しいALT上昇、肝機能障害、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
5. 過敏症、紅斑、血管性浮腫、脱毛	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
6. 発疹、そう痒、嘔気、悪心、胃不快感、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、LDH上昇、CK上昇、筋肉痛、脱力感、頭痛、頭重感、しびれ、めまい、貧血、テストステロン低下、倦怠感、抗核抗体陽性化	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
7. じん麻疹、口渇、消化不良、腹痛、腹部膨満感、便秘、口内炎、嘔吐、食欲不振、舌炎、下痢、ビリルビン上昇、コリンエステラーゼ上昇、ALP上昇、頻尿、BUN上昇、血清クレアチニン上昇、筋痙攣、ミオグロビン上昇、こわばり感、眠気、不眠、血小板減少、顆粒球減少、白血球減少、好酸球増多、白血球増多、グロブリン上昇、アルドステロン低下、アルドステロン上昇、ACTH上昇、コルチゾール上昇、動悸、疲労感、皮膚疼痛、ほてり、関節痛、浮腫、霧視、眼のちらつき、耳閉感、尿潜血、尿酸値上昇、血清K上昇、血清P上昇、味覚異常、着色尿	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
8. 横紋筋融解症、母動物死亡、胎仔骨格奇形、先天性奇形、CK上昇、筋障害、白内障	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ピタバスタチンCa錠2mg「JG」の相互作用

1. 薬剤名等：シクロスポリン

発現事象	急激な腎機能悪化を伴う横紋筋融解症、副作用の発現頻度が増加	投与条件	-
理由・原因	シクロスポリンにより本剤の血漿中濃度が上昇（Cmax6.6倍、AUC4.6倍）	指示	禁止

2. 薬剤名等：フィブラート系薬剤

発現事象	急激な腎機能悪化を伴う横紋筋融解症、自覚症状＜筋肉痛・脱力感＞、血中及び尿中ミオグロビン上昇、血清クレアチニン上昇、CK上昇、腎機能の悪化	投与条件	腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる
理由・原因	-	指示	相対禁止

3. 薬剤名等：フィブラート系薬剤

発現事象	急激な腎機能悪化を伴う横紋筋融解症、自覚症状＜筋肉痛・脱力感＞、血中及び尿中ミオグロビン上昇、血清クレアチニン上昇、CK上昇、腎機能の悪化	投与条件	-
理由・原因	両剤とも横紋筋融解症が報告	指示	注意

4. 薬剤名等：ニコチン酸

発現事象	急激な腎機能悪化を伴う横紋筋融解症、自覚症状＜筋肉痛・脱力感＞、血中及び尿中ミオグロビン上昇、血清クレアチニン上昇、CK上昇、腎機能の悪化	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

5. 薬剤名等：コレステラミン

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	同時投与により本剤の吸収が低下	指示	注意

6. 薬剤名等：エリスロマイシン

発現事象	急激な腎機能悪化を伴う横紋筋融解症、自覚症状＜筋肉痛・脱力感＞、血中及び尿中ミオグロビン上昇、血清クレアチニン上昇、CK上昇、腎機能の悪化	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤により本剤の肝臓への取り込みが阻害	指示	注意

7. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	本剤のCmaxが2.0倍・AUCが1.3倍に上昇	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤により本剤の肝臓への取り込みが阻害	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』